

C—75 女子学生の体型の推移
—1961年と1969年との比較—

鹿児島県立短大 ○茅野 艶子
伊地知寛子

1. 1969年6月～9月に鹿児島県立短期大学女子学生113名の身体計測を行ない、この成績と衣服寸法研究グループの調査研究の一環として、1961年9月～10月に計測を行なった成績とを比較し、8年を隔てた体型の差異について検討を行なった。

2. 被検者は何れも19才・20才の健康な女子学生である。計測項目は、身長、総丈、背丈、前胴丈、背肩幅、肘丈、袖丈、胸囲、胴囲、腰囲、頸付根囲、腕付根囲、手首囲、頭囲、乳頭間幅、全頭高、足長、前胴高、体重の19項目である。計算値として身長/全頭高、全頭高/身長、前胴高/身長、足長/身長、胸囲-胴囲、腰囲-胴囲の6項目を求めた。

3. 増加を示している項目は、身長、総丈、前胴丈、背肩幅、肘丈、胸囲、胴囲、腰囲、腕付根囲、手首囲、頭囲、乳頭間幅、前胴高、体重の14項目でそのうちの9項目に有意差がみられる。減少の傾向を示している項目は残りの5項目でそのうちの全頭高、足長に有意差がみられる。

両年度の体型を総合的に比較すると、1969年はやや大柄になり、身長/全頭高、足長/身長ではそれぞれ有意な増加または減少を示し、体型の変化がみられる。